

公共事業環境配慮書

建設部 道路建設課

<b>事業名称</b>		
事業名	道路改築事業	
整理番号	24-8	
事業の種類	道路(国道、県道、農道、林道)の新設・改築 及び街路の整備	
市町村名	下水内郡栄村	
箇所名	(一)長瀬横倉(停)線 長瀬～貝廻坂	
事業年度	平成24～27年度	
<b>事業概要</b>		
目的	狭小な幅員となっている区間について道路改築を実施し、車両の安全かつ円滑な通行を確保することを目的とする。 さらには、地域間連携交流の強化、産業・地域振興を図る。	
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	道路築造工 L=1.6km 道路幅員W=6.0m、車道幅員W=4.0m(1.5車線道路整備)	
関連する事業計画	なし	
その他特記事項	なし	
<b>関係法令等の規制</b>		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	なし	
その他	なし	
<b>社会的要素</b>		
<b>留意すべき地域の概況</b>		
交通の現況	事業区域の北側に国道117号が位置し、そこから野田沢集落への重要な生活道路となっている。(迂回路は1時間近く遠回りとなる) 交通量は420台/日(H17交通センサス結果)である	
土地利用の現況	一部平坦面があり畑・水田として利用されているが、ほとんどが山地である。 区間北側には保安林が広がる。また区間内には地すべり危険区域(土木)が存在する。	
生活関連施設の現況	道路計画範囲内において住居はないものの、道路の始終点部に集落が存在する。 当区間は小中学校送迎バスのバス路線となっている。	
その他	特になし	
<b>自然的環境要素</b>		
<b>環境配慮の方針</b>		
大気環境	留意すべき地域の概況	特になし
	<b>【大気汚染の防止】</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通流の円滑化により大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。</li> <li>土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。</li> <li>排出ガス対策型の車両や機械を採用する。</li> </ul>	
	<b>【騒音、振動の防止】</b>	
水環境	留意すべき地域の概況	河川・湖沼がある
	<b>【水質汚濁の防止】</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。</li> </ul>	
	<b>【水循環の保全】</b>	
地形・地質	留意すべき地域の概況	丘陵である 円礫を含む粘性土質斜面である。 地すべり危険区域(土木)
	<b>【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地すべり、崩壊、土石流等の危険性の高い地域や、近い将来活動する可能性のある活断層の区域の改変を出来るだけ避ける。</li> </ul>	
	<b>【改変面積の最小化】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>段階的に工事を行い、広範な裸地の出現を防止する。</li> <li>工事により裸地化する箇所は早期の緑化・植栽を行う。</li> <li>工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。</li> <li>法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。</li> </ul>		

野生動植物	留意すべき地域の概況	里山の地域である
	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
	・自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変を出来るだけ避ける。	
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	・回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な植物を生育適地へ移植する又は生育地を創出し移植する。	
	【動物の繁殖期における影響の低減】	
・重要な動物等の繁殖期、産卵期の工事を出来るだけ避ける。		
【地域独自の生物多様性の保全】		
・想定される影響はない。		
【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】		
・想定される影響はない。		
景観	留意すべき地域の概況	山地景観を形成している
	【すぐれた景観の保全】	
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	
【良好な景観の育成】		
・周辺地域の環境との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。		
自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	特になし
	【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
	・想定される影響はない。	
【自然とのふれあい空間の創出】		
・想定される影響はない。		
文化財等	留意すべき地域の概況	特になし
	【文化財等への配慮】	
・想定される影響はない。		
廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	
【資源の有効利用】		
・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。		
・信州リサイクル認定製品の利用を推進する。		
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	
【エネルギーの有効利用】		
・LED照明、節水機器等の省エネルギー設備の導入に努める。		
日照阻害・電波障害・光害	【日照阻害への配慮】	
	・想定される影響はない	
	【電波障害への配慮】	
・想定される影響はない		
【電波障害への配慮】		
・想定される影響はない		

番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	水環境	当該事業は一級河川大巻川及び志久見川の付近の工事となるため、「留意すべき地域の概況」は「特になし」から「河川・湖沼がある」に修正してください。	「留意すべき地域の概況」を「河川・湖沼がある」に修正します。
2	地形地質	計画地は地すべり危険区域になっているので、周辺の地形観察から事前に地すべりの有無を確認するとともに、切土・盛土を行う場合に、地すべり土塊の不安定化を招かないように十分注意してください。	事前に地形観察により地すべりの有無を確認します。また、地すべり土塊の不安定化を招かない工法を検討します。
3	地形地質	急峻で谷地形が多いことから、雪崩対策や融雪・降雨による浸食防止に万全を期してください。	雪崩対策について検討します。掘削法面は浸食を考慮し植生吹付等の法面工を検討します。
4	野生動植物(鳥類)	周辺で絶滅危惧種のクマタカとサンバの生息が確認されているので、調査や地元・関係者への聞き取りなどで稀少猛禽類の生息状況を把握し、同種の繁殖に影響がでないよう配慮して下さい。	地域有識者へ稀少猛禽類の生息状況について照会し、必要に応じて対策を検討します。
5	野生動植物(植物)	周辺で準絶滅危惧種のオクノフウリンウメモドキが確認されているので、他レッドリスト種の有無を含めて確認するとともに、レッドリスト種の生育に悪影響のないよう配慮してください。	工事着手前にレッドリスト種の生育状況について確認し、必要に応じて対策を検討します。
6	景観	工事の施工に当たっては、既存の景観を可能な限り壊すことのないよう十分配慮するとともに、構造物等を設置する際には周辺の色調と調和するような色(こげ茶系)に採用されるよう配慮してください。	地形改変は最小限とし、色調に配慮するよう検討します。